

古楽アンサンブル・セミナー

今年は2コースともに合唱も再開！短時間で発表までしっかり仕上げましょう。

主催：新・福岡古楽音楽祭実行委員会 福岡県 福岡市 (公財)アクロス福岡 (公財)福岡市芸術文化振興財団

[A コース]

■開催日■ 10月13日(金) 16:30-18:00
10月14日(土) 9:45-12:30頃
※発表演奏含む

■課題曲■ ハッセ：神よ 我を憐れみたまえ

■募集内容■ 言語：ラテン語 ピッチ：415hz 定員：40人

合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)

弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ)

管楽器(フルート、リコーダー、オーボエ)

コンティニューオ(チェンバロ、リュート)

[Bコース]

■開催日■ 10月14日(土) 16:00-17:30
10月15日(日) 9:45-12:30
※発表演奏含む

■課題曲■ フレチャ：火事だ El Fuego

■募集内容■ 言語：スペイン語 ピッチ：440hz 定員：30人

合唱(ソプラノ、アルト、テノール、バス)

ルネサンス音楽が演奏できるすべての楽器

■講師■ 岩田 耕作

■会場■ アクロス福岡内

■受講料■ 3,000円(学生1,500円)

複数コース：5,000円(学生2,500円)

■楽譜代■ 郵送希望者は別途500円必要

■受付期間■ 7月15日(土)10時~31日(月)15時

■お申込み■ ホームページのフォームから申込み

(<https://www.kogaku.net/>)



注意 弦楽器は、ガット弦(又はそれに近い響きの弦)、
バロック弓を使用の事。管楽器は原則古楽器とします。

問い合わせ：新・福岡古楽音楽祭 事務局

Email kogaku.fes@gmail.com

URL <https://www.kogaku.net/>

◆今年の課題曲について◆ 文責：岩田耕作

[A コース] J.A.Hasse : Miserere mei, Deus

現ドイツ、ハンブルク近郊のベルゲドルフに生まれたハッセは、19歳のときテノール歌手として音楽キャリアを始めました。その後イタリアに留学し、アレッサンドロ・スカルラッティに作曲を学びます。当時のナポリ人から「親愛なるザクセン人(イル・サロ・サッソーネ)」と呼ばれて愛されたハッセは、やがてオペラ作曲家としてヨーロッパ各地で活躍することになります。映画カストラートでも知られる歌手ファリネリも、彼の作品を好んで歌いました。ハッセの作品は、自らテノール歌手であること、そして人々から愛された温厚な性格がうかがえる旋律の美しさ、のびやかさが特徴です。今回取り上げるミゼレーレは決して華やかではありませんが、シンフォニーホールの音響にふさわしい、荘厳なハーモニーと美しいメロディーを十分に堪能できる作品です。

[B コース] Mateo Flecha el Viejo: El Fuego

長い間イスラム系国家の支配を受けていたイベリア半島は、15世紀後半にスペイン王国として統一されます。やがて大航海時代を迎え、「日の沈まない帝国」とまで言われるほどの大帝国になります。そんな16世紀前半のスペインで書かれた作品を今回取り上げます。かつてわが国でも「火事と喧嘩は江戸の華」という言葉がありましたが、実際の火事と、人間の罪を裁こうと待ち構える地獄の猛火を歌ったリズミカルで激しい作品です。



◆講師プロフィール◆ 岩田耕作 (アンサンブル指導 / オルガン / チェンバロ / 他)



6歳のときに失明。7歳よりギターを、高校入試のために14歳よりピアノを始めるが、そのころから古楽に興味を持ち、上京した15歳よりリュートを、17歳よりチェンバロを始める。筑波大学付属盲学校高等部音楽科を卒業後ヨーロッパに留学。ブリュッセル王立音楽院にてチェンバロと室内楽のブルミエ・プリ、ストラスブル音楽院にてチェンバロと作曲法の金賞を受賞。チェンバロを小林道夫、橋本ひろ、アリーン・ジルヴェライヒ、チェンバロとオルガンをロベール・コーネン、バス・コンティニューオとオルガンをマルタン・ジェステール、作曲法をオディール・シャルベ、マルク・アンドレの各氏に師事。楽器の演奏と共に、専門分野である音楽理論や作曲法の知識を生かした演奏解釈による、器楽、声楽、各種アンサンブル、合唱などの指導、コンサートの企画を行っている。ハルモニー・セレスト代表。